



三木 浩一 議員

KOICHI MIKI



共生社会の実現・観光施策について

公共施設等のバリアフリー化

問 障害者差別解消法が本年5月に改正されたが、公共施設及び観光施設等のバリアフリー化の進捗状況はどうか。その際、ユニバーサルデザインの考え方を念頭にすべきではないか。

答 公共施設におけるバリアフリー化は、段差解消75%、車椅子対応トイレ62%、点字ブロック41%が整備済みであり、既存施設において改修工事はまだできていない部分がある。観光施設においても点字ブロック・多目的トイレ・貸し出し用車椅子の設置等随時改善している。

安全・安心な生活環境

問 高齢者などへの買い物支援の拡充やデマンドバス・コミバスの改善点は。

答 市民乗り合いタクシー利用者の満足度は98%であり、目的地的追加等を検討している。

コミバスも満足度82%であり、今後は、要望の多い「運行本数の増加や運行時間帯の見直し」を検討していきたい。

観光施策

問 観光ルートの啓発や集客できる拠点施設の建設が必要ではないか。また、施設の入場券や商品・宿泊等への割引制度などの導入についてはどうか。

答 観光ルートについてはたつの市観光協会ホームページ等において複数紹介し、また、超小型モビリティレンタル事業・県作成の西播磨サイクリングガイド等においても啓発している。さらに、4箇所の駐車場整備による利便性も高めている。割引券等、一部事例はあるが、今後検討していく。総合施設の必要性は認識しているが、現時点で計画はない。駐車場での青空市場等を検討している。

その他の質問事項

- LGBTについての理解と学校の制服などの校則について
- 証明書交付施設拡大について
- 子どもや保護者がコロナに感染した時の対応について

東鯉崎駅周辺整備事業について



宗實 雅典 議員

MASANORI MUNEZANE



東鯉崎駅周辺整備事業について

問 事業計画を踏まえ今後の予定について

答 当事業は、平成26年度から駅前広場・周辺の接続道路・駐車場・既存駅舎の整備を東鯉崎駅周辺地区地域活性化推進委員会と協議しながら進めてきた。最終年度となる今年度は、駅舎を改修し、地域交流施設の整備を行う予定で、次年度以降は委員会を中心に施設を拠点に地域の活性化・課題等の解決に協働で取り組んで行く。

問 時間貸し駐車場の整備について

答 駅周辺に民間の月極駐車場はあるが、時間貸し駐車場はなく一時利用が出来ない状況である。駐車場の整備については、月極駐車場と同様、駅周辺の遊休地の有効活用等、民間活力による整備を検討する。

不登校・ひきこもりについて

問 市内の小中学校において、長期間欠席している子供たちや家族への対応・対策はどのようなか。

答 原因や理由の把握、現況確認のために家庭訪問や定期的な連絡を取り、必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図る個別支援に努めている。

問 ひきこもり状態にある人の実態は把握されているのか、また、市としての取組は。

答 国のような一律の調査は難しいことから、具体的な実態調査は実施していない。ひきこもりの要因は多種多様で、市関係各課が情報を共有し、支援策を協議する「たつの市支援会議」で、個々に対応している。地域の一人として生活できるよう、自立関係機関と連携しながら、自立に向けて取り組んでいく。

その他の質問事項

- 放置自転車の対応について
- 不登校の原因・理由・現況把握・小中学校卒業後の状況等について